

平成26年第3回片品村議会定例会会議録第1号

議事日程 第1号

平成26年6月6日（金曜日）午前10時00分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 一般質問
- 日程第 5 議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第38号 平成26年度片品村一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第 7 報告第11号 平成25年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 日程第 8 報告第12号 平成25年度片品村一般会計事故繰越し繰越計算書について
- 日程第 9 同意第 1号 片品村公平委員会委員の選任について
- 日程第10 同意第 2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第11 同意第 3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 一般質問
- 日程第 5 議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第38号 平成26年度片品村一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第 7 報告第11号 平成25年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 日程第 8 報告第12号 平成25年度片品村一般会計事故繰越し繰越計算書について
- 日程第 9 同意第 1号 片品村公平委員会委員の選任について
- 日程第10 同意第 2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第11 同意第 3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について

会議録1号用紙

片品村議会会議録			第 1 日
平成 2 6 年 6 月 6 日			
出席議員 1 2 名		欠席議員 1 名	欠員 1 名
第 1 番	星 野 栄 二		(出 席)
第 2 番	梅 澤 志 洋		(出 席)
第 3 番	星 野 精 一		(出 席)
第 4 番	飯 塚 美 明		(出 席)
第 5 番	千 明 道 太		(出 席)
第 6 番	星 野 逸 雄		(出 席)
第 7 番	今 井 功		(出 席)
第 8 番	戸 丸 廣 安		(出 席)
第 9 番	星 野 千 里		(出 席)
第 1 0 番	笠 原 耕 作		(出 席)
第 1 1 番			
第 1 2 番	星 野 育 雄		(出 席)
第 1 3 番	星 長 命		(欠 席)
第 1 4 番	入 澤 登 喜 夫		(出 席)

説明のために出席した者の職氏名

村	長	千	明	金	造				
副	村	長	萩	原	重	夫			
教	育	長	星	野	準	一			
総	務	課	長	桑	原	護			
住	民	課	長	吉	野	耕	治		
保	健	福	祉	課	長	萩	原	明	富
健康	管理	センター	所	長	星	野	市	子	
農	林	建	設	課	長	金	子	賢	司
むら	づくり	観	光	課	長	木	下	浩	美
教育	委員会	事務	局	長	佐	藤	八	郎	
給	食	センター	所	長	星	野	孝	俊	
国	体	事務	局	長	星	野	勝	彦	
会	計	管	理	者	千	明	建	太	郎

事務局職員出席者

事	務	局	長	大	竹	光	一	
係			長	金	子	小	百	合

議長（飯塚美明） ただいまから、平成26年第3回片品村議会定例会を開会いたします。
本日の会議を開きます。

午前10時05分 開会

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（飯塚美明） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によりまして、12番 星野育雄さん及び14番 入澤登喜夫さんを指名します。

日程第2 会期の決定

議長（飯塚美明） 日程第2、会期の決定の件を議題にいたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から6月13日までの8日間にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日から6月13日までの8日間に決定しました。

日程第3 諸般の報告

議長（飯塚美明） 日程第3、諸般の報告を行います。

本日まで受理した請願は、会議規則第91条及び第92条の規定により、お手元に配付の請願文書表のとおり、所管の常任委員会に付託いたしました。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

議長（飯塚美明） 日程第4、一般質問を行います。

通告に基づき、発言を許可します。

8番 戸丸廣安さん。

（8番 戸丸廣安登壇）

8番（戸丸廣安） はい、8番。

皆様、おはようございます。8番の戸丸廣安です。

通告に基づき、来年、平成27年2月20日から4日間、ここ片品村で開催される第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会について一般質問いたします。

答弁を求めますのは、この冬季国体片品村実行委員会会長である千明村長と同副会長である星野準一教育長に対してです。

質問内容は、2015年、ぐんま冬国体において、まず大きな1として、片品における冬季国体の準備の現状と目標、県・国・関係機関の対応、技術面と工夫、冬季国体とその後の展開について。

次に、大きな2として、村の進路について、片品ならではの施策の展開を期待してのものです。

具体的には、質問席より質問させていただきます。

(8番 戸丸廣安 質問席に移動)

議長(飯塚美明) 教育長 星野準一さん、答弁席へお願いいたします。

教育長(星野準一) はい、教育長。

(教育長 答弁席に着席)

議長(飯塚美明) 8番、お願いします。

8番(戸丸廣安) はい。

それでは、最初に、国体の現状と目標ということで、まず準備状況を教えてください。

教育長(星野準一) はい、議長。

議長(飯塚美明) はい、教育長。

教育長(星野準一) はい、教育長。

それでは、戸丸廣安議員のご質問に対しまして、通告に基づきお答えをいたします。

まず、冬季国体についての現状と目標のうち、準備の状況はについてでございますけれども、第70回国民体育会冬季大会スキー競技会を片品村で開催するのに当たりまして、4月1日より教育委員会内に国体事務局を設置いたしました。片品村職員6名、群馬県よりの派遣職員1名、臨時職員3名、計10名の職員により、競技会並びに大会運営に必要な諸準備に当たっております。

以上です。

議長(飯塚美明) はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

次に、当面並びに最大の課題は何でしょうか。この辺の説明をお願いします。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

当面の課題、それから最大の課題についてでございますけれども、まず当面の課題につきましては、開催決定から大会までの準備期間が非常に短いので、いかに効率よく、あるいは無駄なく必要な諸準備を整えて、大会に備えられるかが当面の課題でございます。そのため、事務、あるいは企画立案の効率化や効率の上がる方法について工夫をしながら進めております。

次に、最大の課題でございますけれども、ご存じのように冬季国体スキー競技会は、冬の屋外競技で、天候に大きく左右されます。したがって、大会期間中の天候がスキー競技会にふさわしいものであるかどうかが一番の課題だと思っております。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

天候は、これはいかんともしがたいものでありますけれども、準備のほうは怠らず、しっかりと行うということが感じられるところでありまして、引き続きよろしく申し上げます。

3として、今回が3回目の国体開催となります。3回目の国体開催を村担当者はどういう位置づけで、どういうふうにとめて位置づけておられるか、その点を単刀直入に教えてください。お願いします。

教育長（星野準一） 議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） 3回目の国体の位置づけについてでございますけれども、ご案内のように国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康と体力の向上を図り、併せて地域スポーツの振興と地域文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に開催され、広く周知されております。

したがいまして、大会後、本村で開催する大会を通じまして、大会の趣旨が幅広く普及されまして、参加する多くの選手、あるいは役員の皆様に、自然に恵まれた片品村を知っていただきファンになっていただく、この上ない良い機会だと捉えております。

以上です。

8番（戸丸廣安） はい。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） 慣れているとはいえ、3回目もまたしっかりと準備の上に臨むんだなという、そういう感じでございますけれども、それに当たっては村民の参加が不可欠であります。国体への対応の仕方というのも、近年変わってきているやに思われますけれども、この冬の国体に対しまして、村民参加の具合、あるいは度合いについて説明をお願いいたします。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

村民参加についてのご質問でございますけれども、冬季国体スキー競技会では、大きく分けて競技会役員と実行委員会役員を編成いたします。

したがいまして、一人でも多くの皆さんにこれらに携わっていただけるよう、これからしっかりとお願いをして、立派な競技会ができるようにしていきたいと思っております。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

これまでの内容の追加の確認の質問ですけれども、一人でも多くの村民が参加したり、役員の奉仕ができるように期待を込めておりますけれども、数字的には村民に対してのアピールとかの依頼もあると思うんですけれども、大体どのくらいのレベルで村民の参加を願われているのか。その辺、表現しにくい部分もあるかもしれないけれども、大まかに言ってもらえればありがたいです。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） 数的なものにつきましては、まだしっかりとした数字をこの場で申し上げる段階に至っていませんけれども、必要な関係につきましては、先ほど申し上げましたように、各競技に必要な競技役員という意味での競技会役員、それから接待や装飾等を含めて必要になる、実行委員会として必要な方々の要請を考えております。

過去の競技会で必要な人数につきましては、国体の場合は、アルペン競技はジャイアントスラローム一本ですけれども、約200人台、クロスカントリー競技も約200人台、ジャンプ競技が100人台、コンバインド競技がジャンプとクロスカントリーを行いますので、単独種目としてのジャンプとクロスカントリー競技会の役員がこれに携わりますので、そうした役員ということで、相当規模の人数が要ですが、残念ながら村内の方々がこれらがすべて間に合う状況にありませんので、群馬県スキー連盟、あるいは群馬県等を通じて必要な方々の要請をして、しっかり大会に備えるように準備をしたいと思っております。

実行委員会の各役員、係員等につきましては、おもてなしや接待等を通じて、必要なものを中心に考えていきますし、直接、片品村として必要でない、片品村が要請しないで携わる方々、例えば開会式の関係とかにつきましては、群馬県からの要請で編成されるものというふうになりますが、人数につきましては、具体的にはまだ定まっておきませんので、よろしくお願ひします。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

次に、（2）として、県・国・関係機関の対応に関しましてですけれども、まず伝わってくる支援協力並びに支援体制については、どのようなものでしょうか。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

支援協力並びに支援体制についてのご質問でございますけれども、冒頭でもご案内がありましたけれども、第70回冬季国体は「きらめいて 雪と氷の風となれ」のスローガンのもと、2015ぐんま冬国体として群馬県等が開催をし、スケート競技会、アイスホッケー競技会並びにスキー競技会が行われ、そのうちスキー競技会が本村、片品村が会場地

となるものでございます。このため、群馬県は、第70回国民体育大会冬季大会の群馬県実行委員会を組織いたしまして、大会の推進を図っております。

群馬県実行委員会は、競技会に当たっては、会場地実行委員会が競技団体と協力をしながら行うように定めていますので、片品村でもこの方針に沿いまして、スキー競技会を行ってまいります。したがって、片品村議会、片品村スキークラブ、片品村スキー場連絡協議会、あるいは片品村観光協会、片品村旅館民宿組合連合会を初めとする多くの皆様のご支援、ご協力をいただきましてスキー競技会に備えております。また、特に陸上自衛隊の皆様には、各競技会会場で協力支援として、これらの業務に携わっていただきます。

概略、以上のとおりですが、よろしく願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

さらに、主催者の県・国・関係機関の対応について、村の担当者として表現をしていただきたいと思います。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

期待する対応についてでございますけれども、地元医療機関や関係各方面、各分野からさまざまな支援協力が必要となってまいりますので、結果として安全・安心が確保でき、全国各地から参加する選手の皆様に練習の成果が発揮できまして、それぞれ目標や目指していたものの結果が得られ、満足のいく大会で片品の大会に参加して良かったと言って帰っていただけるような関係各位のご支援とご協力を期待しております。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

満足して帰っていただくということで、そのとおりかと思えます。それが実現することを願います。

片品として地元の開催地なんですけれども、満足となる県・国・関係機関の対応という点では、ここでつけ加えるとすれば何かありますでしょうか。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） 満足のいく支援関係についてでございますけれども、繰り返しになりますけれども、参加する選手の皆さんがそれぞれ積み上げた練習の成果が片品の大会で発揮できて、これに対して村民の皆様の温かいおもてなし等が加わって、片品の大会ということで満足して帰っていただけるような、そんな関係者のご支援、ご協力を期待いたしておるところでございます。よろしくお願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

3として、技術面と工夫等の現状と今後について尋ねます。

まず、大会は、ジャイアントスラロームの尾瀬岩鞍、スペシャルジャンプとコンバインドの片品シャンツェ、クロスカントリーとコンバインドの尾瀬ほたか高原スポーツパークの3か所ですけれども、①としてコース施設の計画目標と現状についてお願いします。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

（3）の技術面と工夫のうちのコース施設のご質問でございますけれども、冬季国体スキー競技会は、全国大会にふさわしいコース施設の設定が求められております。

したがって、競技関係者の指導、助言等をいただきながら、これに努めておりますし、また近年の競技会では、大会を見に来てくれる方々への配慮も考えたものであることが必要というふうに言われております。したがって、可能な限りこういったことになるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

次に、附帯施設の計画目標並びに現状について教えてください。お願いします。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

関連する附帯施設についてでございますけれども、附帯施設につきましては、各競技ごとにさまざまな附帯施設が必要となっておりますが、まず必ず必要なものを第一といたしまして、限りある予算の中で最大の効果が上がるものを優先に考えていきたいと思っております。

本年2月、本村で開催いたしました第51回全国中学校スキー大会の経験や、やまがた樹氷国体などを参考に、各競技関係者等々のご指導を、あるいはご助言をいただきながら、必要な附帯施設を整えていきたいというふうに考えております。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

次に、進入路、これも一つの課題としてあると思っておりますけれども、改良点、この進入路などの改良点について計画目標と現状の説明をお願いしたいと思います。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい、教育長。

進入路などの改良点についてということでございますけれども、まず武尊牧場内に新設をいたしました尾瀬ほたか高原スポーツパーク・クロスカントリーコースについては、既存の施設内道路を使用し、競技会場まで行かなければなりません。幅員が狭く、あるいは急勾配のところがありますので、全国中学校スキー大会の運営実績から、特に改良を要する2か所について、今期定例会で補正予算のお願いをし、改良工事を実施していきたいと考えております。

そのほかの競技会場地につきましては、特に現時点で改良、あるいは改善を要するというふうな進入路についてはございませんので、よろしく申し上げます。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

教育長、この技術面と工夫等の項目についての追加の質問で、簡単に触れたいと思えますけれども、ジャンプコースに関して教育長が昨日の片品村実行委員会第2回総会で、5月20日、全日本スキー連盟がジャンプ台改修現地調査を実施し、指導、助言をいただいたと言われました。具体的にはどういう指導、助言がありましたか。

教育長（星野準一） はい、議長。

議長（飯塚美明） はい、教育長。

教育長（星野準一） はい。まず、助走路についての現状と今期第70回大会で使用する場合の整合性について現地で見ながらご指導をいただきました。

前回国体大会の際に気温の関係がありまして、助走路、すなわちアプローチでございませうけれども、非常に雪が緩んで、競技運営に非常に支障を来す、それは危険ではないかというふうなことで支障を来すような状況が見受けられましたけれども、それを70回大会のときに防ぐにはどうしたらいいかということを含めて、現地でご指導をいただきました。

従来検討してきたのは、セラミック式の型といいましようか、セラミック式の人工的なものを設置したいというふうに思っていましたけれども、やはり冬の競技なので、人工のままではまずいというふうなご指導をいただきまして、いわゆる夏のサマージャンプのような形で、雪を張りつけしないで、人工構造物に水をまいて助走路とするという、そういう考え方はだめだというふうな結論を現地でいただきましたので、雪を使った助走路、すなわちアプローチを設置できるように、これから工夫等を加えながら対応を考えていきたいというふうに考えています。

いずれにしても、雪が緩む。したがって、それに対する安全性を確保するということの必要性を指摘されましたので、どういう形のどういうものがそれに加えられるかということを含めて今後検討して対応してまいりたいと思います。

それから、着地をするランディングバーンのほうですけれども、やはり土を使用した地形といいましようか、表面仕上げが土でございませうので、若干設計上の形と現地の地形に差が出てきておりまして、設計どおりの形で仕上げますと、非常に薄い状況となりますので、少し厚めに整備できる工夫をする必要があるというご指導をいただきました。非常に難しい課題でありますけれども、工夫をして、これに対応したいというふうに考えております。

そのほか細かい項目も含めると、いろいろございましたけれども、当面大きな項目として挙げられるのは、ランディングの関係とアプローチの関係ということになりますので、よろしく願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

教育長、ありがとうございました。以上で教育長への質問は終わります。
次に、千明村長にお願いいたします。

議長（飯塚美明） はい。

村長 千明金造さん、答弁席へお願いいたします。

村長（千明金造） はい、村長。

（村長 答弁席に着席）

8番（戸丸廣安） 改めてお願いします。

（4）として、冬季国体とその後について村長に質問いたします。

まず、1として、国体を通しての村のアピールはどういうものになりますか。昨日の第2回片品村実行委員会では、この点、最高のチャンスと村長は表現しましたがけれども、村のアピールについてよろしくお願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

戸丸廣安議員の通告に基づいて答弁をさせていただきます。

まず、①の国体を通してのアピールということですが、国民体育大会は、地方スポーツの振興や地方文化への発展寄与などの開催目的がありますが、その一方で、開催地にとりましては、当地を知っていただくよい機会でもあります。

一般的に地方の魅力は、5つのキーワードがあると言われていています。1つ目が「食」、2つ目が「温泉」、3つ目が「歴史と文化」、4つ目が「自然」、5つ目が「人情」であります。

片品村には、地方の魅力素材の全てが整っています。来年開催される冬季国体は、片品村を全国にアピールするよい機会と捉えて、片品村の魅力アップにつなげていきたいと考えております。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

次に、グリーン・シーズン利用とこの連携について伺います。

春・夏・秋の活用も想定して命名したと思われる尾瀬ほたか高原スポーツパークを含め、思い切り内外にアピールできる場所があるのではないのでしょうか。よろしくお願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

②のグリーン・シーズンとの連携についてということですが、冬季のみではなく、年間を通し、先ほどの「5つのキーワード」を磨き深めて、片品村の交流人口を増やすことが大切であります。まさに、四季を通じた取り組み連携が大事だと認識しているところでもあります。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ぜひ冬以外の季節にもたくさんの入り込み客、スポーツを楽しむ、あるいは標高差を含めた片品の強みの場所をアピールできればなというふうに思い、またそのために関心を持って真に期待したいと思えます。

次に、構想があれば、それについてお願いを申し上げます。

構想といえば、片品村・尾瀬の郷構想ですが、それにつながる村の飛躍のための構想があればということと言及をお願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

③の構想ということですが、片品村には、地方の魅力資源は十分にありますので、機会あるごとにアピールしていきたいと思えます。そして大切なことは、ここに住む私たちが、その魅力について気づき、認識を深め、磨き高めることが重要であると考えています。片品村の恵まれた資源を有効活用しての活性化方法は、十分に可能と考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

その活性化に向かって一助となる扉だというふうに認識をしております。

④として、冬季全国大会が村の生きる道の明確化へつながるのではと期待していますけれども、いかがでしょうか。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

④の冬季全国大会が村の生きる道の明確化へつながるかについてですが、冬季国体だけではなく、あらゆる機会を通じて、村の魅力をアピールしたいと常々に考えています。まずは、携わる私たちや関係者が気持ちを共有し、資源の磨きやアピールなどに心がけることが大切であると考えています。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

時間の関係もありますので、次に移ります。

大きな2番として、村の進路について、引き続き村長に質問いたします。

国体に絡めて、片品ならではの施策が展開されていくのではないかと期待を込めての質問であります。

まず、冬季全国大会を続けるのかどうかという点であります。今のところ続けたいかどうかという問いかけのほうがよろしいかと思っておりますけれども、その点、言及をよろしくお願ひします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

大きな2番の村の進路について、そして①の冬季全国大会は続けるのかということについてですけれども、全国大会には主催者がいるわけで、要請に応じ、関係者とも協議し検討することとなります。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ありがとうございます。

次に、冬を含めて、片品ブランド、片品の良さですね、特筆できる点というべき村の持ち味の明確化です。つまり片品とは、四季の特徴を含めてこういうところであって、行き方はまさにこういうものだ。したがって、冬はこうしますとか、こういうふうな冬の持ち味の明確化、このような点を強く感じますけれども、村長のご所見をお願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

②の冬を含め、村の持ち味（片品ブランド）の明確化ということですがけれども、まさに、

先ほども答弁させていただいた5つのキーワード、「食」・「温泉」・「自然」・「歴史文化」・「人情」がそうであります。これらをさらに磨き、高め合っていけば、村の持ち味を十分に示せると考えているところであります。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

次に、3番ですけれども、変わらない骨太施策の確立につながるかどうかという表現でもってお尋ねしたいと思います。

時代が変われど、片品は片品らしく、そして活性させていくという意味合いを含めて骨太という言い方をしてみました。ずっと変わらない片品ならではの施策確立へ収れんしていく、そういう時期に来たのかなというふうに思うわけであります。

ちなみに、そういう動きをするときには注目する政府がありますし、政府を見ますと、積極力と実績のある自治体には、地方交付税を加算させるなどして応援するそうです。ですから、国体開催を機に、片品はみずからのアイデンティティーをもっと前面に出しているのではないのでしょうか。この点の所見をお願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

③の変わらない骨太施策の確立につながるかでありますけれども、片品村の主な産業は、農業と観光であります。単独の産業と考えずに、6次産業化も含め両産業が連携して、地域経済を潤し、地域を元気にしていきたいと考えております。そのためには、村の魅力をアピールし、交流人口を増やすことが大切であります。そのための「5つのキーワード」は、先ほど答弁させていただいたとおりでありますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

交流人口を増やすという表現がありました。とてもそれは注目されることであります。もしこの分野で、特につけ加えるものがあればお願いしたいと思いますけれども、よろしく願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい。

特につけ加えるところはありません。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） 人口減への対応について次に伺います。

県も、そして国も、人口減少対策に力を入れるようですから、こうした全国が注目する冬季全国大会等の実行によって、片品村もその分野で積極対応していくことになりそうですでしょうか。

そして、この分野でも、人口減少対策という分野で大いに期待していいのでしょうか。よろしくお願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

④の人口減への対応ということでもありますけれども、人口減少問題は、国全体の課題であります。このたび政府は、女性が育児をしやすい環境を整えるため、社会保障や税制など、あらゆる分野で制度を見直すなどの骨太の方針を示すことや、戦略本部をこの夏にも発足し、50年後に1億人程度の安定的な人口構造を保持する目標を立てると報道されたところであります。

村としては、出産祝金支給事業、給食費補助制度、保育料補助制度、子ども医療費補助、空き家紹介、定住家賃補助制度など、国や他の自治体に先行して取り組んでおりますが、今後も引き続き、制度の充実化を図っていきたいと考えております。

また、同時に、先ほどの「5つのキーワード」をもとに、片品村の魅力を高め、片品村が元気であることが重要であると考えております。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） はい。

ぜひ制度の充実化をさらにさらに進めていただければと思います。期待しております。

最後に、こうした冬の努力が一連の流れとして、村の総合計画への成果の反映となるかです。

来年は総合計画の後期基本計画の5か年の最終年になります。その資料、つまり第3次片品村総合計画・後期基本計画によると、こうあります。「後期基本計画においては、前期5か年の取組をふまえ、さらに磨きをかけ、特に、若者の新たな雇用の場の創出と定住の確保を中心に、5年間の具体的な実施を計画的効率的に進められるように計画を策定しました。」、こうあります。それゆえ、総合計画への反映、成果反映ということで村長の思いをここで語ってください。お願いします。

議長（飯塚美明） はい、村長。

村長（千明金造） はい、村長。

⑤の総合計画への反映という質問でありますけれども、現在、第3次総合計画・後期基本計画にのっとり、各種事業を進めておりますが、住民の意向等を調査しながら現計画をさらに継続発展させた総合計画づくりを進め、村の継続的、持続的発展を図ってまいりたいと考えております。

以上です。

議長（飯塚美明） はい、戸丸議員。

8番（戸丸廣安） ありがとうございます。

その分野もしっかりと注目し、また応援していきたいと思えます。

以上で質問を終わりますけれども、冬季全国大会の片品開催が再来年のインターハイで終わるとは限りません。いや、続くのではないのでしょうか。そう期待され続けるのならば、県や国からの特別支援を物心両面で獲得すべく、中長期施策として腹を決めていただくべきではないのでしょうか。片品の得意の分野として、その点を頼れる千明村政に期待し、要望して、私の一般質問を終わります。

村長、教育長、答弁ありがとうございます。

議長（飯塚美明） ご苦労さまでした。

以上で一般質問を終わります。

議長（飯塚美明） 暫時休憩いたします。

午前10時45分

午前10時55分

議長（飯塚美明） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

日程第5 議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について

議長（飯塚美明） 日程第5、議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について、提案の説明を申し上げます。

今回の改正は、社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準を条例で定めることとされたために行うものです。

なお、詳細につきましては、教育委員会事務局長に説明をさせますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（飯塚美明） なお、詳細な説明を求めます。

佐藤教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（佐藤八郎） はい。

（詳細説明）

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） これで討論を終わります。

これから、議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、議案第37号 片品村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例につい

ては、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第38号 平成26年度片品村一般会計補正予算（第1号）について

議長（飯塚美明） 日程第6、議案第38号 平成26年度片品村一般会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

議案第38号 平成26年度片品村一般会計補正予算（第1号）について、提案の説明を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億1,045万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ42億45万7,000円にお願いするものでございます。

歳入につきましては、地方交付税7,617万3,000円、国庫補助金1,948万8,000円、県支出金919万6,000円、村債650万円の増額、諸収入90万円の減額でございます。

歳出につきましては、総務費630万円、民生費67万3,000円、衛生費84万3,000円、労働費2,177万9,000円、農林水産業費465万1,000円、商工費1,296万円、土木費1,000万円、教育費5,525万1,000円を増額、消防費200万円を減額するものでございます。

なお、詳細につきましては、担当課長に説明させますので、ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

議長（飯塚美明） 議案第38号の質疑以降については、後日の本会議において審議をいたします。

日程第7 報告第11号 平成25年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書について

議長（飯塚美明） 日程第7、報告第11号 平成25年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書についてを議題といたします。

本案について、提出者の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

報告第11号 平成25年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について説明を申し上げます。

この報告は、平成25年度から平成26年度に繰り越して実施する事業につきまして、地方自治法施行令第146条の規定に基づきご報告するものでございます。

内容につきましては、塗川橋架替工事など5つの繰越事業につきまして、総額9,718万6,000円の繰越計算書を調製いたしましたので、ご報告申し上げます。

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で、報告を終わります。

日程第8 報告第12号 平成25年度片品村一般会計事故繰越し繰越計算書について

議長（飯塚美明） 日程第8、報告第12号 平成25年度片品村一般会計事故繰越し繰越計算書についてを議題といたします。

本案について、提出者の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

報告第12号 平成25年度片品村一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について説明を申し上げます。

この報告は、平成25年度に実施した事業が、避けることのできない事情により、年度内に完成できない事業について、平成26年度に繰り越して実施するものについて、地方自治法施行令第146条の規定に基づき繰越計算書を調製し、ご報告するものでございます。

詳細につきましては、担当課長に説明させますので、よろしく願いいたします。

議長（飯塚美明） なお、詳細な説明を求めます。

金子農林建設課長。

農林建設課長（金子賢司） はい。

（詳細説明）

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。
質疑は、ありませんか。
（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。
これで質疑を終わります。
以上で、報告を終わります。

日程第9 同意第1号 片品村公平委員会委員の選任について

議長（飯塚美明） 日程第9、同意第1号 片品村公平委員会委員の選任についてを議題といたします。
本案について、提出者の説明を求めます。
村長 千明金造さん。
（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。
同意第1号 片品村公平委員会委員の選任について、提案の説明を申し上げます。
片品村公平委員会委員の須藤照義氏の任期が、平成26年8月16日に満了となり退任しますが、その後任に田村利夫氏をお願いするものであります。
田村利夫氏は、人格・識見ともに公平委員として適任者であると思っておりますので、ご審議の上、ご同意くださいますようお願い申し上げます。

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。
質疑は、ありませんか。
（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。
これで質疑を終わります。
これから討論を行います。
まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。
（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。
（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） これで討論を終わります。

これから、同意第1号 片品村公平委員会委員の選任についてを採決します。
お諮りします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、同意第1号 片品村公平委員会委員の選任については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第10 同意第2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について

議長（飯塚美明） 日程第10、同意第2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

本案について、提出者の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

同意第2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案の説明を申し上げます。

片品村固定資産評価審査委員会委員の萩原照夫氏が平成26年6月24日で任期満了になります。

つきましては、吉野勲氏を委員に選任いたしたく、同意をお願いするものでございます。

吉野勲氏については、人格及び識見ともに適任者であると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） これで討論を終わります。

これから、同意第2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、同意第2号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任については、原案のとおり同意することに決定しました。

日程第11 同意第3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について

議長（飯塚美明） 日程第11、同意第3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

本案について、提出者の説明を求めます。

村長 千明金造さん。

（村長 登壇）

村長（千明金造） はい、村長。

同意第3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案の説明を申し上げます。

片品村固定資産評価審査委員会委員の千明好次氏が平成26年6月24日で任期満了になります。

つきましては、千明好次氏を再任いたしたく、同意をお願いするものでございます。

千明好次氏につきましては、人格及び識見ともに適任者であると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（飯塚美明） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(飯塚美明) 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(飯塚美明) これで討論を終わります。

これから、同意第3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(飯塚美明) 異議なしと認めます。

したがって、同意第3号 片品村固定資産評価審査委員会委員の選任については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

議長(飯塚美明) 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会いたします。

大変皆様ご苦労さまでした。

午前11時12分 散会